東播磨ブロック・オセロゲーム大会ルール

１　共通

（１）　先手（黒）、後手（白）はじゃんけんで勝った方が選ぶ。

（２）　１ゲームの制限時間は、開始から１５分とする。
　１５分で対局を終えない時は、その後、一手３０秒以内に石を置かなければならない。以後、勝敗が決まるまで、３０秒の秒読みで行う。
　３０秒を過ぎても石を置かない時は、敗者となる。
　その場合の点数は、勝者６４点、敗者0点とする。

（３）　盤上に自分の石を置いて、その手から石を離したら石の打ち直しはできない。

（４）　石を置いて対戦相手の石をひっくり返せる場所があれば、必ず石を置かなければならない。

（５）　ゲーム中に、どこに石を置いても対戦相手の石をひっくり返すことができない場合は、パスと発言しなければならない。

（６）　対戦相手の石がなくなった場合、対戦相手に石を提供しなければならない。

（７）　石を置いて対戦相手の石をひっくり返すのを忘れた場合、対戦相手が次手を打った後は、どんなアピールもみとめない。

（８）　両者とも、どこに石を置いても対戦相手の石がひっくり返る場所がない場合、その時点でゲームは終了し、取った点数の多い者を勝ちとする。
　審判が点数を数え、点数計算は、取った石による点数＋残った石の１／２による点数（端数の石がある場合は、両者に０．５点ずつ分配）により行う。

（９）　ゲーム中にすべての石が同じ色になってしまった場合は、その時点でゲームは終了する。この場合の勝った者は６４点、負けた者は０点とする。

（10）　対戦カードの勝敗欄は、勝ち「○」、負け「×」、引き分け「△」で記入し、対局者双方には、記録の確認義務を負い、万一勝者の記入が逆になっていたことが提出後になって発覚しても原則として訂正は認められません。
　（先手「●」、後手「○」も併せて記入すること）

（11）　ゲームは石がなくなるまで行う。（１の（８）、（９）除く）

２　予選リーグ

（１）　所定の時刻になっても対局者が現れない場合（遅刻や欠席など）は、時間の多少にかかわらず、不戦敗となります。
　この場合、先着者は、不戦勝として取り扱うものとする。
　なお、大会規定上、石差または石数を確定する必要がある場合は、不戦勝は、４０対２４で１６石差勝ちとして取り扱います。
　また、遅刻者が次の対局に間に合えば、それより通常の対局とする。
　ただし、欠員の場合は除く。

（２）　取った点数が同じ場合、引き分けとする。

（３）　順位の決め方の優先項目は以下のとおりとする。
　○　第１優先項目：勝ち数の多い者
　○　第２優先項目：負け数の少ない者
　○　第３優先項目：勝ち点の多い者
　　※　上記項目によっても順位を決定できない場合は、抽選による。

３　決勝トーナメント

（１）　取った点数が同じ場合は、勝者を抽選で決める。
　ただし、決勝戦は１回限り再試合とする。